

夢窓 幼稚園通信第17号

2025年 6月 30日

7月の声を聞くと、今年の夏(なつやすみ)を どう過ごすだろうかと思ひ巡らします。

決して計画した通りにはならない毎年なのですが、あれこれと予定や目標を思ひ描くこと自体が、例年この時期の楽しみでもあるのです。

冒険など何かへの挑戦、新たな生き方...など人生そのものに關することが思ひ浮かんできたり、生活習慣の見直しや、日頃やり切れていない部屋や書類の片付け...等 すぐこぶる現実的なこともメモしていきます。その中で 必ず計画に入るのは「この夏に読む本リスト」です。

すぐに読みたい本が浮かんでくることがあれば、本棚の前に立って探す時もあります。

自分の本棚はもちろんです。書店や図書館(室)の本棚を前にした時間は格別 な時間です。

どんな背表紙に呼ばれるか...本が「私を手にとって」と呼びかけてくるのです。本の背中は、実に生命的な、静かにして本自身の大きな存在表現なのです。

私の心が求めているもの、私が今必要としているもの...が、何となく 選り、選ばれる本たちを通して、私自身にあつたためて開示される感じがします。

背表紙を読む時間、背表紙に呼びかけられる時間は、人生 折々の 特別大切な立ち止まりの、素敵なひと時なのでしよう。

梅雨が 明けたとのこと... 半年のターニングポイントの前に、いつもより早く夏を迎えた今年、園のなつまつりを含め どのようなサマタイムにしたいか、背表紙との向き合いなど プランづくりから 楽しみ、酷暑をのり越えていきたいと思ひます。

愛する みなさん、今年は どんな夏になりそうですか!?

園長 弁光 泰雄

